

## 大川一廣

建築デザイナー

おおかわ かずひろ●1971(昭和46)年、商学部商業学科卒業。1949年生まれ。東京都出身。1984年、(株)アイピーテック設立。2000年にイギリスの音楽家エリック・クラプトン氏と、ファッションブランドを設立するなど多方面で活躍中。朝日放送「大改造!! 劇的ビフォーアフター」では「ピアノが一番えらい家」「11人の大家族」などを担当。講演も多数。

36歳で転職を決意、  
単身、イギリスへ渡る。

私の持論は「大学とは、自分自身の人生設計を考えるとこころ」です。私自身、中学生の頃から、こうした考えを実践してきました。本学在学中には、女性のすべてをコーディネートする仕事、女性をステキにする仕事をしたいという夢を抱いていました。しかし、実際は卒業後、父の電器店に入社し、同じ年に結婚。子どもが生まれ、育てているうちに、自分のやっている職業と、やりたいことが全然違うという思いが募りました。決心したのは、36歳のときです。女房、小学生の子どもを日本に残して単身、イギリスに渡りました。周囲は反対どころの騒ぎではなく、理解してくれたのは母と家内だけでした。

人気テレビ番組で、  
「匠」として腕をふるう。

イギリスでは、手がけた仕事がBBC(イギリスの公共放送局)に取り上げられ、イギリス中の評判となりました。日本に帰国してからは、ドイツ、フランスの部材を、日本の住宅の一般部材とし

住まいを設計することは、  
人生を設計することと同じです。

住宅リフォームをテーマにしたユニークな人気テレビ番組『大改造!! 劇的ビフォーアフター』。取り上げられる住まいは、いずれも困難な問題や条件を抱えている。リフォームの「匠」として登場した大川一廣さんに、番組の舞台裏をはじめ建築デザイナーの原点などを、うかがった。

て使い、建築デザイナーの仕事をしました。そんなある日、『大改造!! 劇的ビフォーアフター』というテレビ番組のプロデューサーから出演依頼がありました。この番組がウケているのは、ヤラセがないからです。事前に下見をするわけでも、図面をもらうわけでもありません。撮影当日の朝、ロケバスに乗せられ、そのまま現地に連れて行かれます。

私は3回、担当しました。1回目は「グランドピアノが一番えらい家」、2回目は「19㎡寝るだけの家」、3回目は「大家族2時間スペシャル」です。「ピアノが一番えらい家」では、13坪の家にグランドピアノが居座り、子供2人ずつ二段ベッドに4人が寝る事自体、愕然としました。お話をお聞きして分かったのは、奥様が音大卒業で学生のときに求めたピアノで、このピアノを置いてくれる男性と結婚すると決めていたそうです。納得しました。

「19㎡寝るだけの家」では、番組の中で「私が2DKに変えます」と断言してから番組が進行して行く過程で、ゲスト出演の高橋英樹さんと所ジョージさんからサインを求められ、皆さんに喜んでいただけたのかなと思いました。

なかでも印象に残っている案件は、定員オーバーの家として放映された3回目の「大家族2時間スペシャル」です。

一番上のお兄ちゃん、もう一人は大変なやんちゃというか、元気あふれるお子さんでした。この2人を事務所に来てきて、お父さんお母さんをどう思うか、兄弟姉妹はどう思うか、一日かけて聞きました。そうしたら、すごくいい言葉が滝のようにあふれてくる。2人が競争するように、言うんですよ。「母さんに、いい思いをさせたい」「父さんの何倍も働いて、両親に楽をさせたい」……。こんなに、いい子どもたち、自分にも欲しい! よし、やるぞ! と決意しました。話を聞きながら、図面を起こしました。それが子ども部屋に「ツリーハウス」と名付けたロフトの設置、1階の壁を取り払った広いダイニングルームなどになりました。

番組に登場する依頼者は、住まいについて悩みや問題を抱えています。それらを解決するだけで済ませたら、ただの人です。そうではなく、10年後、15年後には、こうなるだろう、だから今から用意しておく。建築デザイナーは、いかに先の人生まで読めるかです。(談)

## 最愛のクルマ MORGAN

「年間の生産台数は60台ほど。中学生のときカタログを取り寄せ、人生設計をして55歳で買えるだろうという計画を立て、42歳で実現しました。クルマ全体のデザインは同じですが内装、ハンドル、コックピットなどは、自分なりにこだわってデザインしました」

